

畑かん散水器具のご紹介

肝属中部地区では、県営で実施される事業期間内であれば、散水器具導入のための補助制度を活用できます。さらに肝付町では、独自の畑かん散水器具導入支援事業を行っており、約7%の自己負担で散水器具を導入することができます。導入に係る工事の時期に関しては、原則として申込年度の翌年度となります。県営事業完了後の導入費用については、全て自己負担になるため、事業完了年度の前年までに申込をお願い致します。

先月の広報紙でもお知らせした散水器具の導入について、今回は導入できる代表的な器具の種類をご紹介します。

※下記の導入費用については、対象の補助制度を適用した額となっております。

【埋設固定式散水施設（レインガン）】 ※導入費用 約8万円（30aあたり）

●特徴

- ・器具の設置、撤去が不要なので、労力負担がありません。
- ・散水位置が高いため、草丈が高い作物にも適しています。
- ・畑に固定設置する施設のため所有農地等が中心となります。
- ・基本的に畑の中央線上に設置するので、作業の支障となることがあります。



【レインガン】 ※導入費用 約6万円（30aあたり）

●特徴

- ・通常、散水位置は低いですが、草丈の高い作物の場合は接続管により対応可能です。
- ・播種直後でもヘッドの調整ねじで水滴を細かくすると安心して利用できます。



【走行式散水施設（ロールカー）】 ※導入費用 約12万円（60aあたり）

●特徴

- ・複数の畑での散水に適しています。
- ・器具の設置、撤去は容易にできるので、労力負担が少ないです。
- ・散水位置が低いので、草丈が高い作物には適しません。
- ・事業導入の下限面積が、60aとなっています。



【噴射ホース】 ※導入費用 約6万円（30aあたり）

●特徴

- ・散水の粒滴が細かく、播種（定植）直後や、草丈の低い作物への散水に適しています。
- ※粒滴が細いと風の影響を受けやすいので、散水むらには注意が必要です。
- ・器具の設置、撤去は容易にできるので、労力負担が少ないです。
 - ・散水位置が低いので、草丈が高い作物には適しません。



【移動式スプリンクラー】 ※導入費用 約7万円（30aあたり）

●特徴

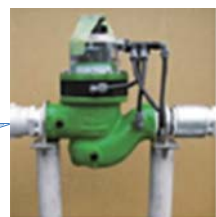
- ・散水位置が高いため、草丈が高い作物にも適しています。
- ・機材が軽いので、小面積の畑では設置が比較的容易です。
- ・30a 当たりでは設置本数（14本）が多く、設置・回収に労力が必要です。



【定流量自動停止弁】 ※導入費用 約2万円

●特徴

- ・散水器具（ロールカー除く）と組み合わせることで、定量を散水後に自動停止するので、非常に便利です。
- ※ロールカーは、定量散水後自動停止するので不要。



【ストレーナ（目詰まり防止）】 ※導入費用 約1万円

●特徴

- ・目詰まり防止のため、散水器具のうち、噴射ホースには必須です。



お問い合わせ 肝付町役場 農業振興課 畑かん対策係 ☎0994(65)8417
肝属中部土地改良区 ☎0994(45)7120